



わが心のふるさと富士山

5

源平橋

中田叔子さん
石坂六一八―二四



山陰の海辺で育った私が、富士市に住むようになり二十七年目を迎えるようとしています。幼いころからあこがれていた富士のお山は、雲の上にぼっかり浮かんだ姿でしたが、初めて見た富士山はあまりにも近く、雪を抱いて前に立ちほだかっている雄大な姿に、言葉では言いあらわせない感動を受けたことを覚えています。

新富士駅に行く途中、往復する源平橋からの富士山を型染めに選びましたが、型染めを始めて日の浅い私は、遠景や富士山の色を、どのように表現したらよいのか苦心しました。

こちら編集室

夏、皆さんのいい顔探してビデオカメラを肩に、ことしも夏を撮りまくりました。

特に海が好きな私、自慢の広報車（4駆）で勇んで田子の浦海岸へ。順調な撮影に気をよくしてさ

あ次の現場へ……。ああそれなのに我が愛車は玉石に足を取られ万事休す。8月15日、午後3時浜にいらっしゃった佐野さん初め、4駆マンの皆さん、本当にお世話になりました。感謝感激！

ペットブーム



ペットブームの影で、飼えなくなって不要犬として出されたり、捕獲された犬の数は、年間千匹近く。この数字は、一体何を意味するんだろう。実は、我が家でも捨てられていた猫と、犬一匹を飼っている。正直言って、散歩やふんの始末がおっくうなときもしばしば。生き物を飼うってのも、なかなか大変ですよ。



の影で

広報ふじは環境にやさしい再生紙を使っています